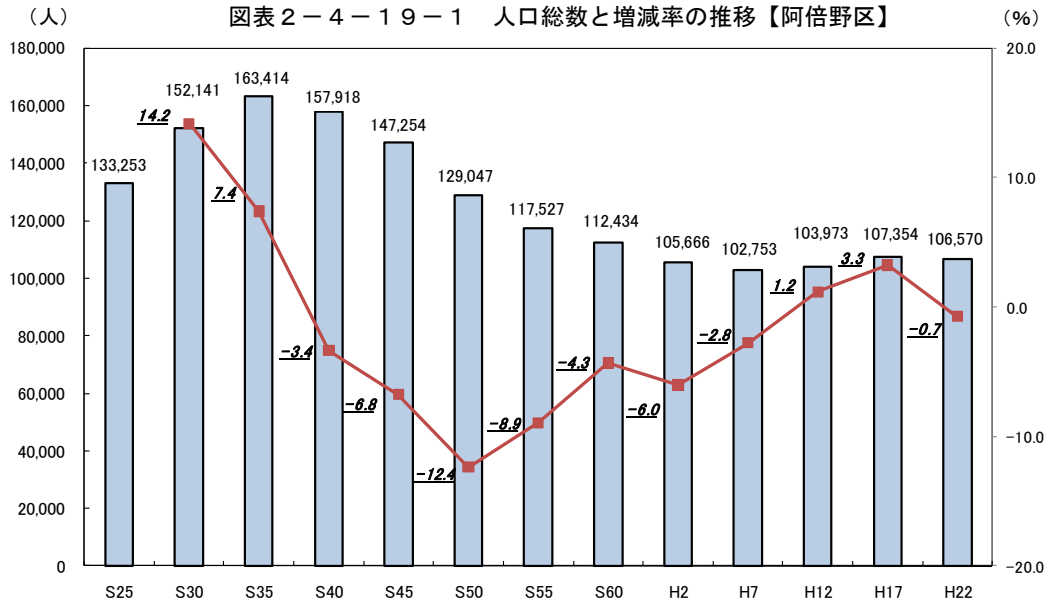


< 19 > 阿倍野区

1. 人口の推移

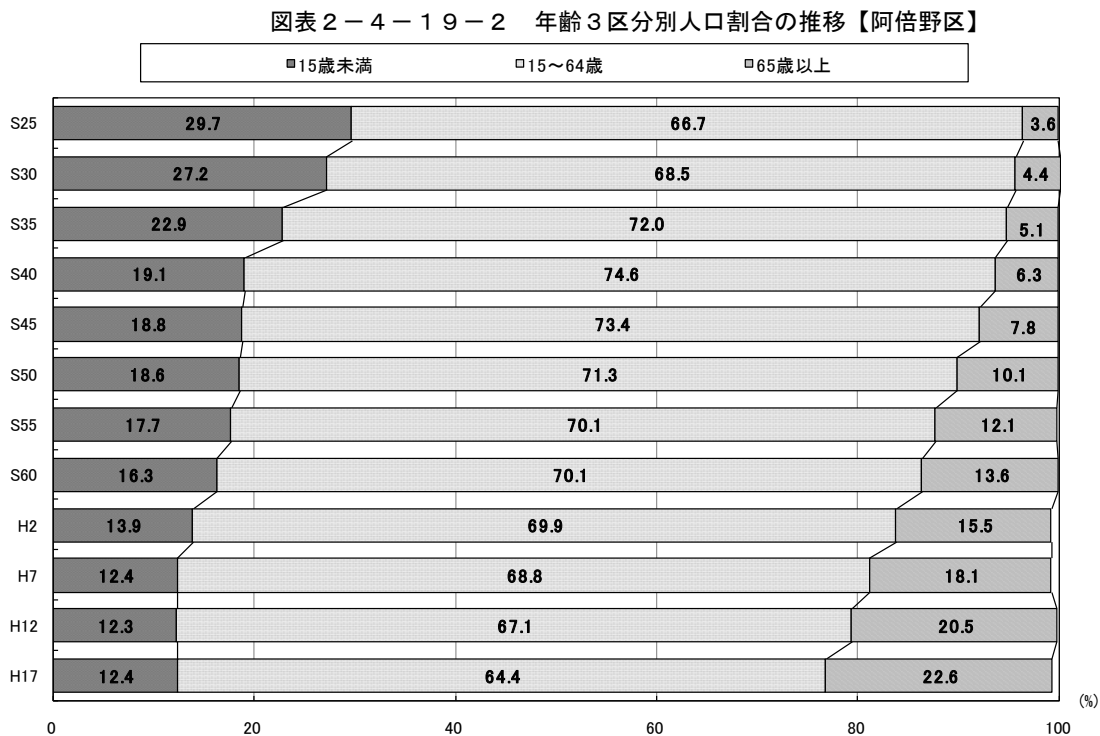
・昭和35年から減少が続いたが、平成12年、17年は増加。平成22年は再び減少した。



資料：国勢調査 ※H22は速報値

2. 年齢3区分別人口割合の推移

・平成17年では老年人口割合が24区中5番目に高い。生産年齢人口割合は低くなっている。



資料：国勢調査

注：年齢「不詳」を含むため、合計値が100%にならない場合がある。

3. 自然動態

・昭和 58 年に自然減少に転じた。西成区に次いで自然減少に転じるのが早かった。

図表 2-4-19-3 出生・死亡・自然増減数の推移【阿倍野区】

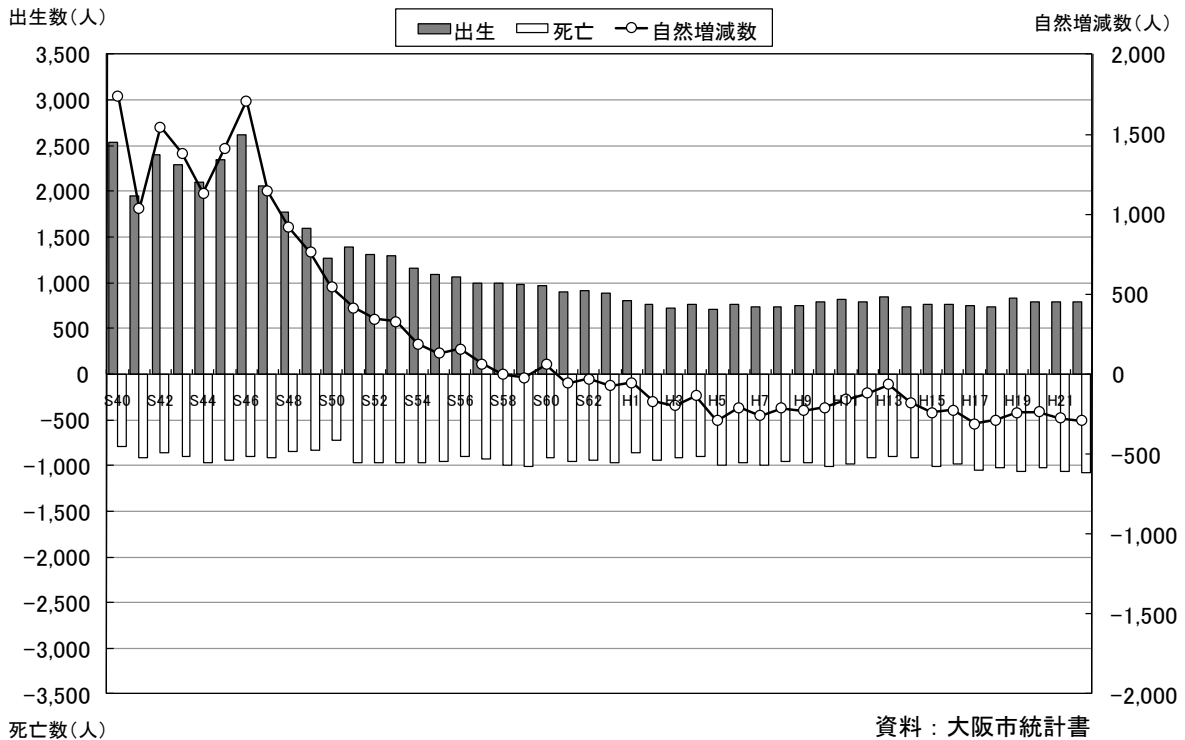


図 2-4-19-4 出生・死亡・自然増減数の推移【阿倍野区】

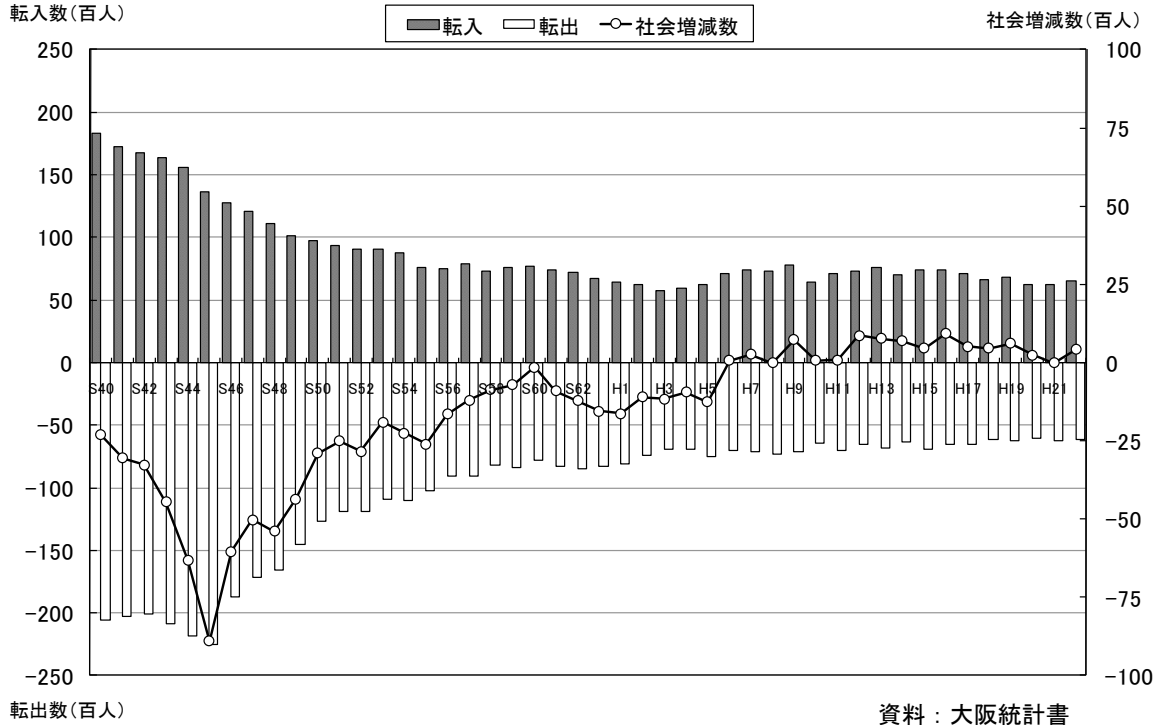
	出生数	死亡数	自然増減数		出生数	死亡数	自然増減数
昭和 40 年	2,539	798	1,741	昭和 63 年	889	962	△73
昭和 41 年	1,950	915	1,035	平成元年	811	863	△52
昭和 42 年	2,401	857	1,544	平成 2 年	767	937	△170
昭和 43 年	2,290	906	1,384	平成 3 年	722	920	△198
昭和 44 年	2,097	964	1,133	平成 4 年	767	903	△136
昭和 45 年	2,348	939	1,409	平成 5 年	711	1,001	△290
昭和 46 年	2,616	906	1,710	平成 6 年	759	968	△209
昭和 47 年	2,054	910	1,144	平成 7 年	740	998	△258
昭和 48 年	1,770	850	920	平成 8 年	743	955	△212
昭和 49 年	1,592	830	762	平成 9 年	745	974	△229
昭和 50 年	1,273	729	544	平成 10 年	795	1,005	△210
昭和 51 年	1,391	974	417	平成 11 年	823	979	△156
昭和 52 年	1,310	964	346	平成 12 年	793	913	△120
昭和 53 年	1,296	965	331	平成 13 年	842	907	△65
昭和 54 年	1,155	964	191	平成 14 年	738	917	△179
昭和 55 年	1,091	961	130	平成 15 年	766	1,006	△240
昭和 56 年	1,058	902	156	平成 16 年	761	986	△225
昭和 57 年	990	926	64	平成 17 年	745	1,054	△309
昭和 58 年	995	996	△1	平成 18 年	733	1,018	△285
昭和 59 年	980	1,003	△23	平成 19 年	830	1,070	△240
昭和 60 年	971	912	59	平成 20 年	788	1,025	△237
昭和 61 年	903	960	△57	平成 21 年	796	1,069	△273
昭和 62 年	913	943	△30	平成 22 年	785	1,074	△289

資料：大阪市統計書

4. 社会動態

・平成6年に社会増加に転じた。以降、平成8年及び21年を除き、社会増加が続いている。

図表 2-4-19-5 転入・転出・社会増減数の推移【阿倍野区】



資料：大阪統計書

図 2-4-19-6 転入・転出・社会増減数の推移【阿倍野区】

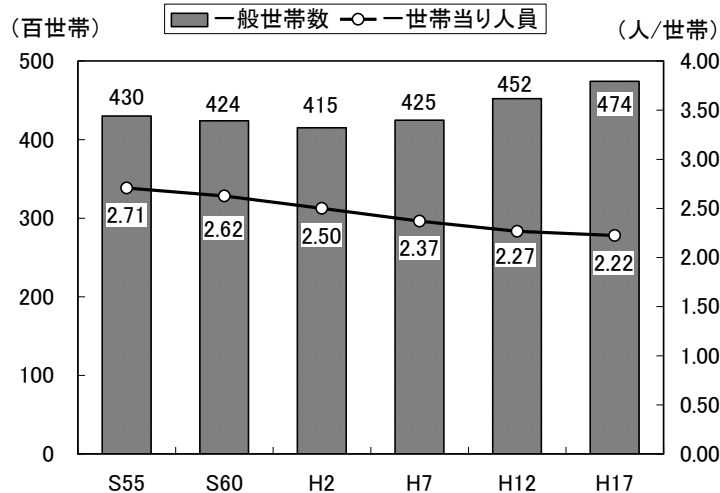
	転入数	転出数	社会増減数		転入数	転出数	社会増減数
昭和 40 年	18,303	20,613	△2,310	昭和 63 年	6,763	8,320	△1,557
昭和 41 年	17,266	20,317	△3,051	平成元年	6,443	8,067	△1,624
昭和 42 年	16,777	20,040	△3,263	平成 2 年	6,276	7,374	△1,098
昭和 43 年	16,375	20,834	△4,459	平成 3 年	5,773	6,925	△1,152
昭和 44 年	15,562	21,867	△6,305	平成 4 年	5,943	6,881	△938
昭和 45 年	13,605	22,512	△8,907	平成 5 年	6,230	7,491	△1,261
昭和 46 年	12,724	18,754	△6,030	平成 6 年	7,098	7,037	61
昭和 47 年	12,087	17,108	△5,021	平成 7 年	7,369	7,099	270
昭和 48 年	11,137	16,527	△5,390	平成 8 年	7,276	7,294	△18
昭和 49 年	10,122	14,480	△4,358	平成 9 年	7,846	7,119	727
昭和 50 年	9,760	12,659	△2,899	平成 10 年	6,460	6,399	61
昭和 51 年	9,352	11,866	△2,514	平成 11 年	7,140	7,055	85
昭和 52 年	9,086	11,924	△2,838	平成 12 年	7,351	6,492	859
昭和 53 年	9,045	10,944	△1,899	平成 13 年	7,561	6,789	772
昭和 54 年	8,781	11,040	△2,259	平成 14 年	7,061	6,371	690
昭和 55 年	7,601	10,199	△2,598	平成 15 年	7,386	6,920	466
昭和 56 年	7,475	9,113	△1,638	平成 16 年	7,411	6,494	917
昭和 57 年	7,847	9,051	△1,204	平成 17 年	7,103	6,578	525
昭和 58 年	7,269	8,140	△871	平成 18 年	6,648	6,186	462
昭和 59 年	7,645	8,347	△702	平成 19 年	6,859	6,239	620
昭和 60 年	7,662	7,816	△154	平成 20 年	6,268	6,028	240
昭和 61 年	7,383	8,286	△903	平成 21 年	6,201	6,217	△16
昭和 62 年	7,249	8,474	△1,225	平成 22 年	6,544	6,120	424

資料：大阪統計書

5. 一般世帯数と一世帯当り人員数

・世帯数は微増。一世帯当り人員は減少傾向だが、その幅は小さくなっている。

図表 2-4-19-7 一般世帯数と一世帯当り人員の推移【阿倍野区】



		S55	S60	H2	H7	H12	H17
阿倍野区	一般世帯数	42,992	42,393	41,492	42,454	45,202	47,399
	一世帯当り人員	2.71	2.62	2.50	2.37	2.27	2.22
大阪市	一世帯当り人員	2.83	2.71	2.53	2.36	2.22	2.12

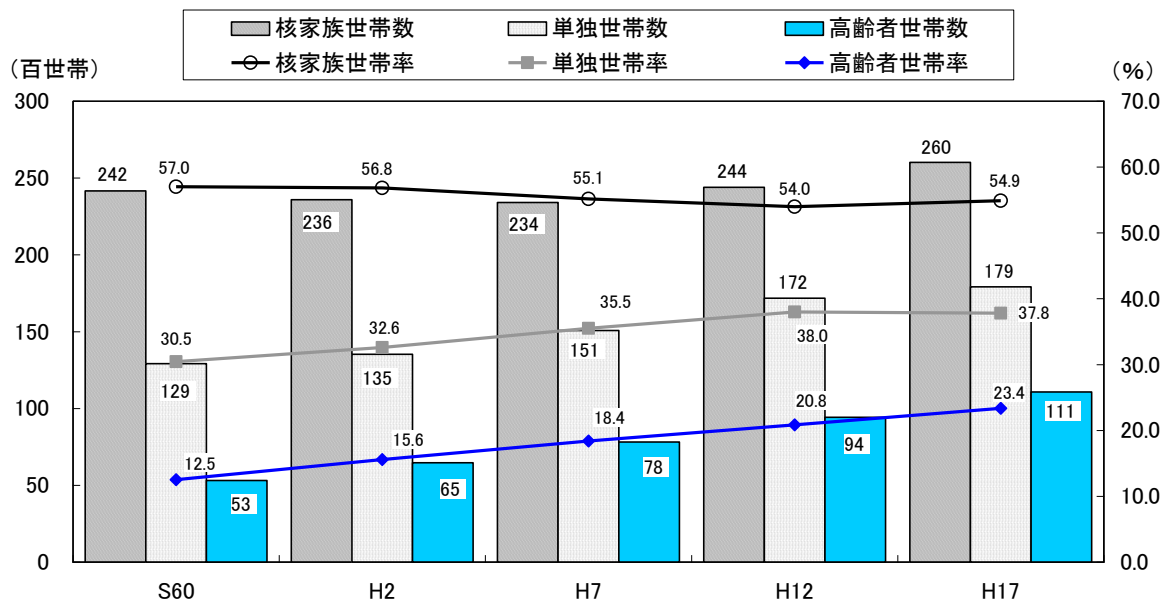
単位：一般世帯数（人） 一世帯当り人員（人/世帯）
 ※S55は普通世帯、S60以降は一般世帯

資料：国勢調査

6. 世帯の状況

・核家族世帯数は平成7年から増加。単独世帯数及び高齢者世帯数も増加している。

図表 2-4-19-8 核家族世帯・単独世帯・高齢者世帯の推移【阿倍野区】

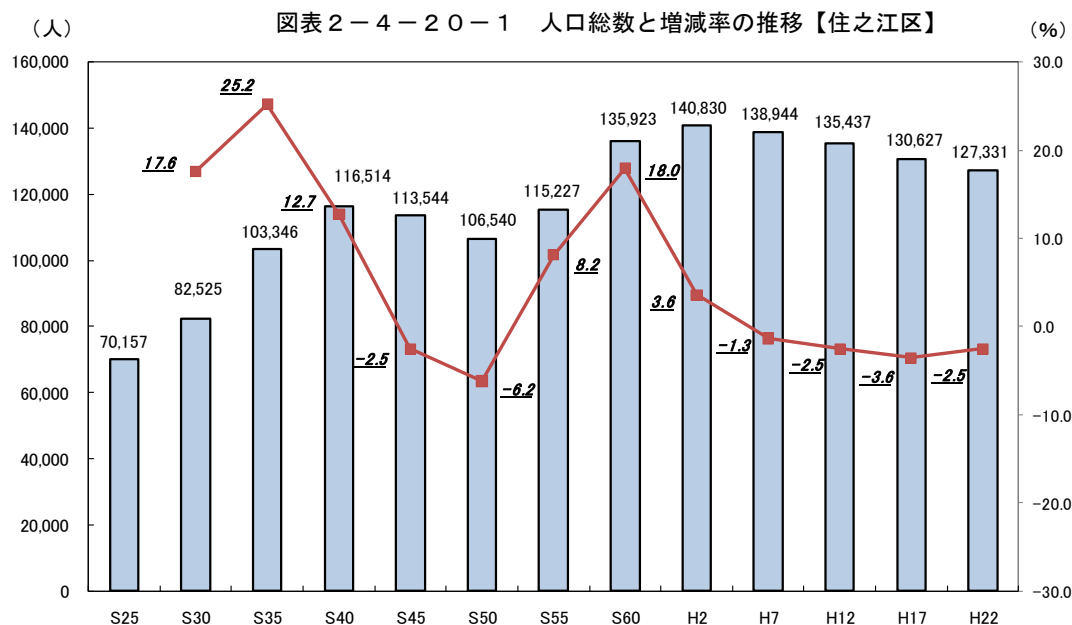


資料：国勢調査

< 20 > 住之江区

1. 人口の推移

・平成2年にピークがあり、その後緩やかに減少が続く。昭和55年、60年に大幅な増加をするなど、他区とは異なる推移をしている。



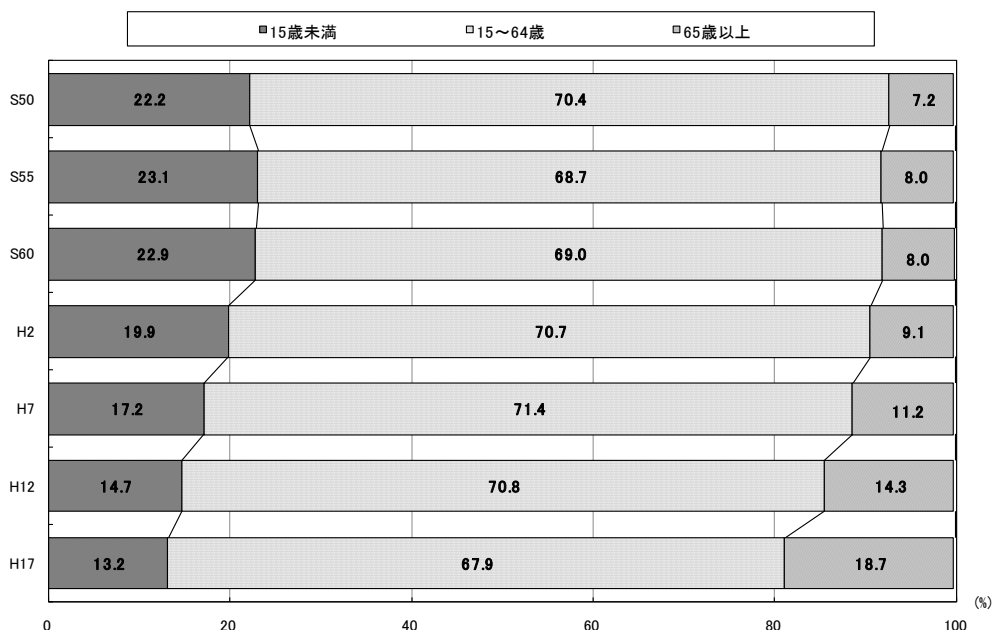
※住之江区は昭和49年に住吉区より分区しているため、それ以前の数値は分区後の区域で遡及して集計した数値である。

資料：国勢調査 ※H22は速報値

2. 年齢3区分別人口割合の推移

・年少人口割合は高めで推移しており、平成17年では24区中4番目に高い。

図表 2-4-20-2 年齢3区分別人口割合の推移【住之江区】



※住之江区は昭和49年に住吉区から分区したため、それ以前の年齢3区分別のデータは存在しない。

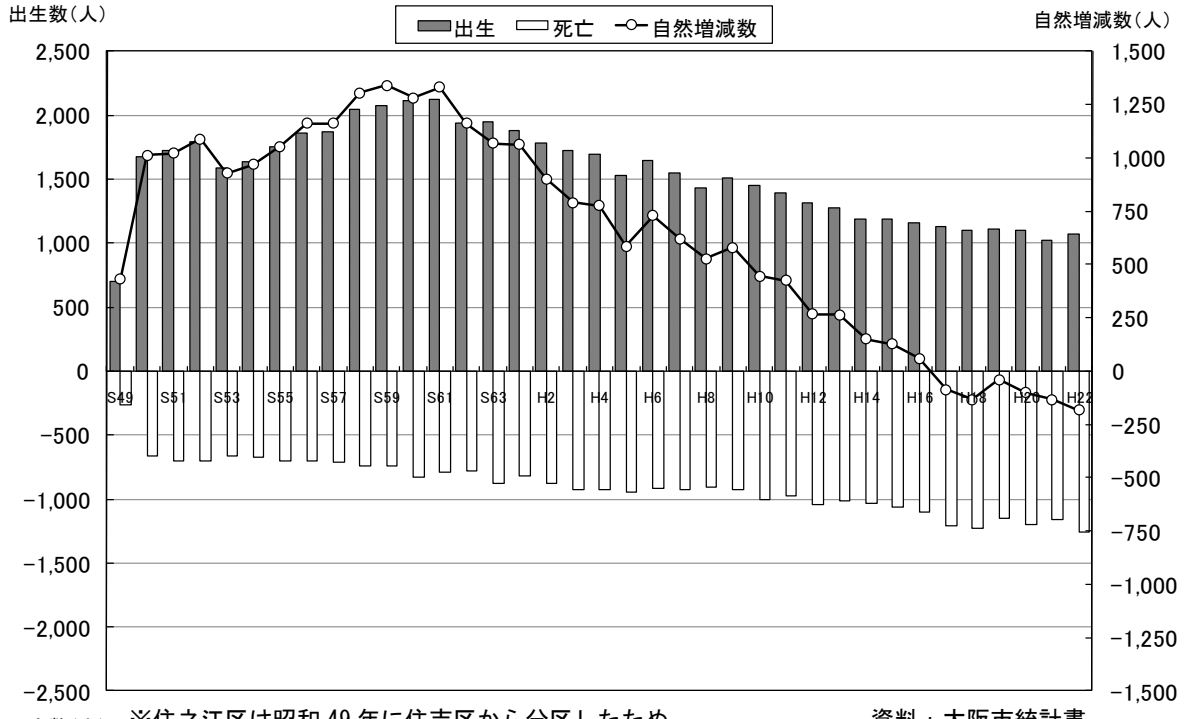
資料：国勢調査

注：年齢「不詳」を含むため、合計値が100%にならない場合がある。

3. 自然動態

・昭和 59 年をピークに自然増加数は減少傾向となり、平成 17 年には自然減少に転じた。

図表 2-4-20-3 出生・死亡・自然増減数の推移【住之江区】



※住之江区は昭和 49 年に住吉区から分区したため、それ以前のデータは存在しない。

図 2-4-20-4 出生・死亡・自然増減数の推移【住之江区】

	出生数	死亡数	自然増減数		出生数	死亡数	自然増減数
昭和 49 年	700	265	435	平成 5 年	1,535	948	587
昭和 50 年	1,674	662	1,012	平成 6 年	1,647	917	730
昭和 51 年	1,727	705	1,022	平成 7 年	1,547	925	622
昭和 52 年	1,790	701	1,089	平成 8 年	1,430	902	528
昭和 53 年	1,592	664	928	平成 9 年	1,506	925	581
昭和 54 年	1,642	674	968	平成 10 年	1,452	1,006	446
昭和 55 年	1,759	705	1,054	平成 11 年	1,394	970	424
昭和 56 年	1,863	702	1,161	平成 12 年	1,313	1,045	268
昭和 57 年	1,873	711	1,162	平成 13 年	1,280	1,015	265
昭和 58 年	2,051	744	1,307	平成 14 年	1,185	1,034	151
昭和 59 年	2,078	738	1,340	平成 15 年	1,187	1,059	128
昭和 60 年	2,111	830	1,281	平成 16 年	1,163	1,104	59
昭和 61 年	2,120	788	1,332	平成 17 年	1,127	1,212	△85
昭和 62 年	1,940	779	1,161	平成 18 年	1,099	1,231	△132
昭和 63 年	1,950	882	1,068	平成 19 年	1,111	1,151	△40
平成元年	1,881	819	1,062	平成 20 年	1,097	1,197	△100
平成 2 年	1,780	877	903	平成 21 年	1,022	1,155	△133
平成 3 年	1,721	929	792	平成 22 年	1,076	1,259	△183
平成 4 年	1,697	922	775				

資料：大阪市統計書

※住之江区は昭和 49 年に住吉区から分区したため、それ以前のデータは存在しない。

4. 社会動態

・平成元年より社会減少に転じる。他区と異なり、近年の方が社会減少の傾向が強い。

図表 2-4-20-5 転入・転出・社会増減数の推移【住之江区】

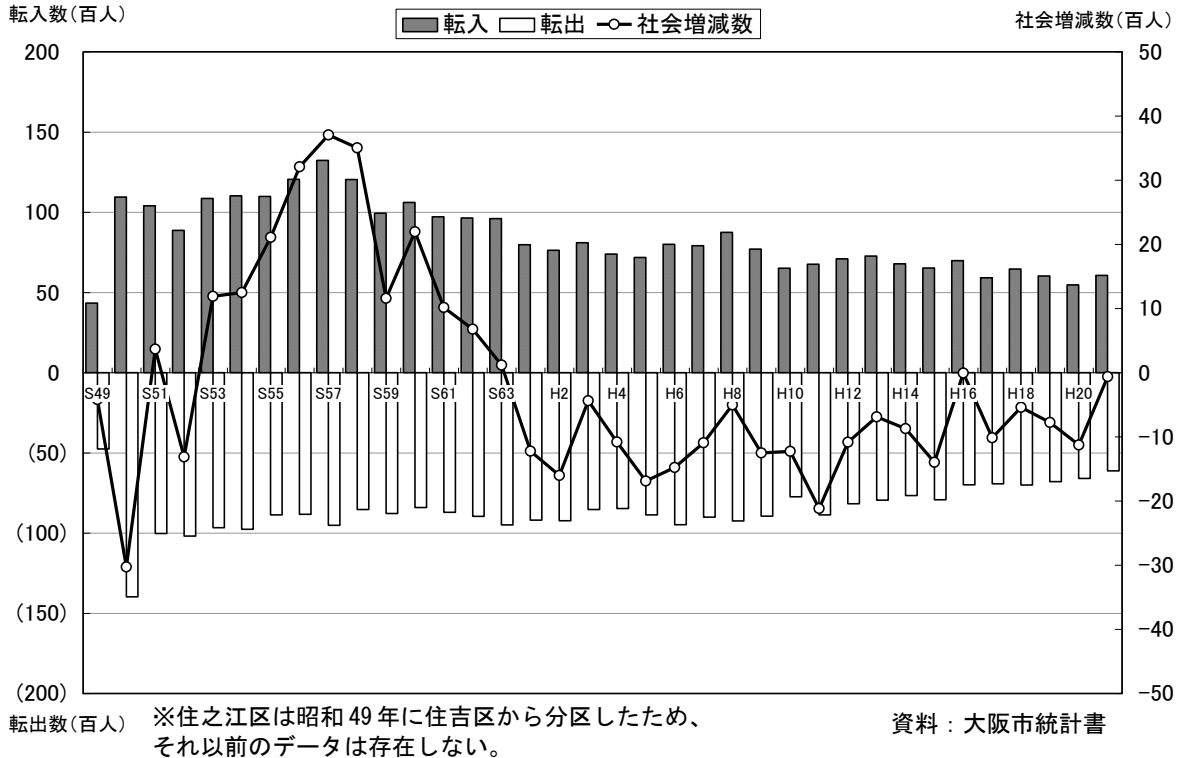


図 2-4-20-6 転入・転出・社会増減数の推移【住之江区】

	転入数	転出数	社会増減数		転入数	転出数	社会増減数
昭和 49 年	4,339	4,757	△418	平成 5 年	7,180	8,870	△1,690
昭和 50 年	10,948	13,976	△3,028	平成 6 年	8,005	9,482	△1,477
昭和 51 年	10,395	10,028	367	平成 7 年	7,907	9,001	△1,094
昭和 52 年	8,873	10,187	△1,314	平成 8 年	8,741	9,243	△502
昭和 53 年	10,851	9,662	1,189	平成 9 年	7,699	8,949	△1,250
昭和 54 年	11,019	9,769	1,250	平成 10 年	6,507	7,733	△1,226
昭和 55 年	10,977	8,868	2,109	平成 11 年	6,756	8,875	△2,119
昭和 56 年	12,045	8,837	3,208	平成 12 年	7,089	8,173	△1,084
昭和 57 年	13,224	9,518	3,706	平成 13 年	7,262	7,951	△689
昭和 58 年	12,038	8,536	3,502	平成 14 年	6,788	7,661	△873
昭和 59 年	9,938	8,779	1,159	平成 15 年	6,524	7,920	△1,396
昭和 60 年	10,610	8,413	2,197	平成 16 年	6,981	6,988	△7
昭和 61 年	9,719	8,703	1,016	平成 17 年	5,915	6,932	△1,017
昭和 62 年	9,634	8,957	677	平成 18 年	6,465	7,005	△540
昭和 63 年	9,608	9,490	118	平成 19 年	6,023	6,799	△776
平成元年	7,971	9,195	△1,224	平成 20 年	5,464	6,591	△1,127
平成 2 年	7,631	9,232	△1,601	平成 21 年	6,057	6,119	△62
平成 3 年	8,097	8,536	△439	平成 22 年	5,833	6,041	△208
平成 4 年	7,393	8,475	△1,082				

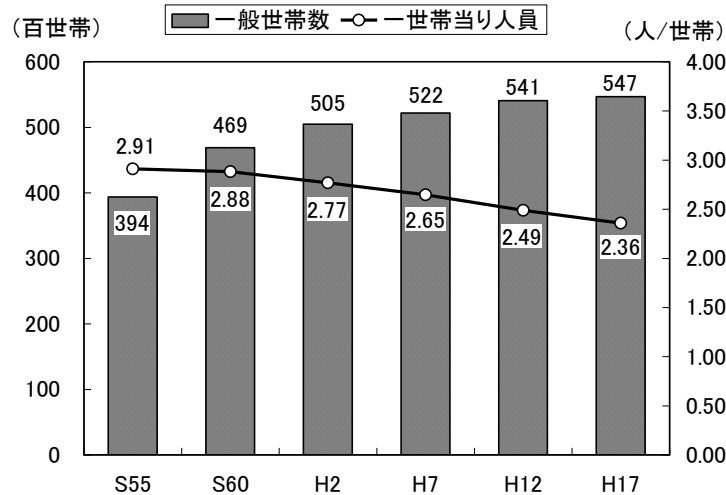
※住之江区は昭和 49 年に住吉区から分区したため、それ以前のデータは存在しない。

資料：大阪統計書

5. 一般世帯数と一世帯当り人員数

・世帯数は増加しているが、その幅は縮小傾向。一世帯当り人員は減少しているが、市全体の水準を上回っている。

図表 2-4-20-7 一般世帯数と一世帯当り人員の推移【住之江区】



		S55	S60	H2	H7	H12	H17
住之江区	一般世帯数	39,356	46,893	50,471	52,189	54,068	54,658
	一世帯当り人員	2.91	2.88	2.77	2.65	2.49	2.36
大阪市	一世帯当り人員	2.83	2.71	2.53	2.36	2.22	2.12

単位：一般世帯数（人） 一世帯当り人員（人/世帯）

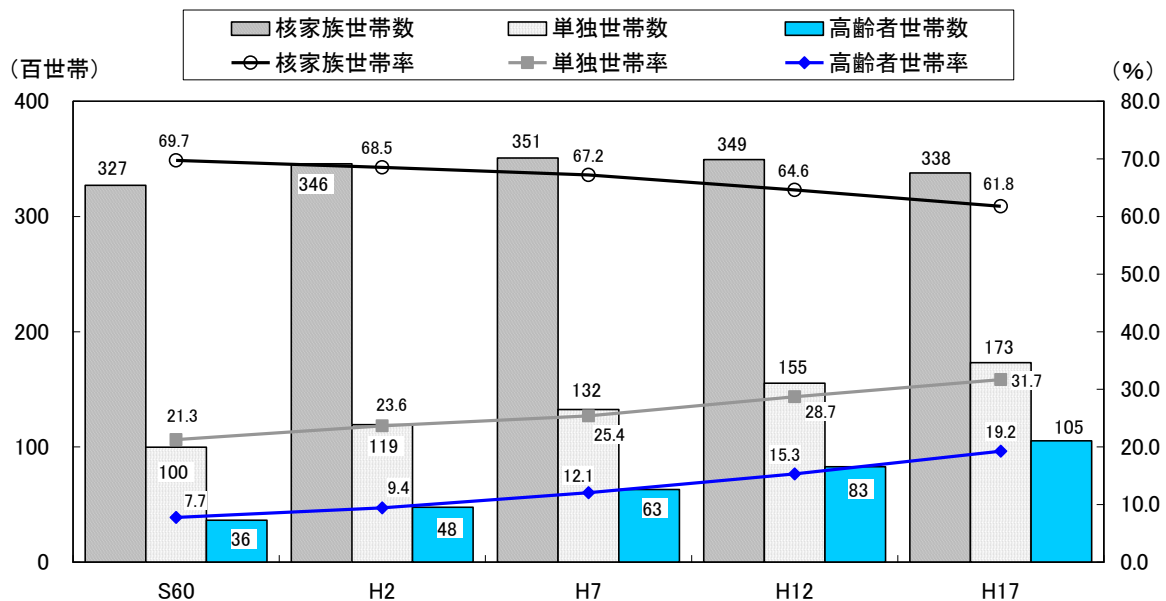
資料：国勢調査

※S55は普通世帯、S60以降は一般世帯

6. 世帯の状況

・核家族世帯数は平成7年より減少。単独世帯数と高齢者世帯数は一貫して増加。

図表 2-4-20-8 核家族世帯・単独世帯・高齢者世帯の推移【住之江区】

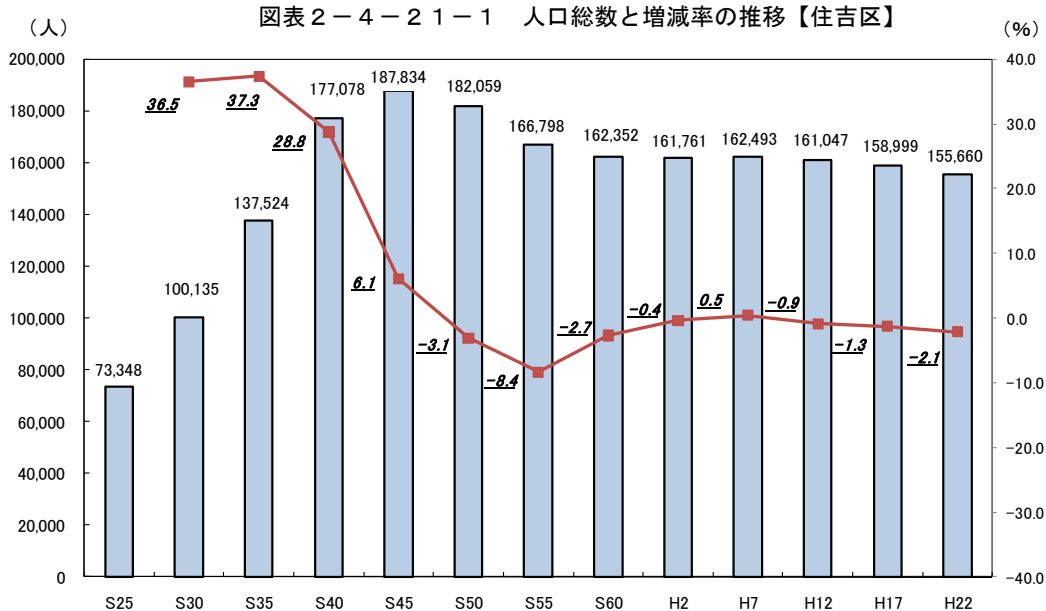


資料：国勢調査

< 2 1 > 住吉区

1. 人口の推移

・昭和45年がピークで、昭和55年以降は緩やかな減少傾向となる。

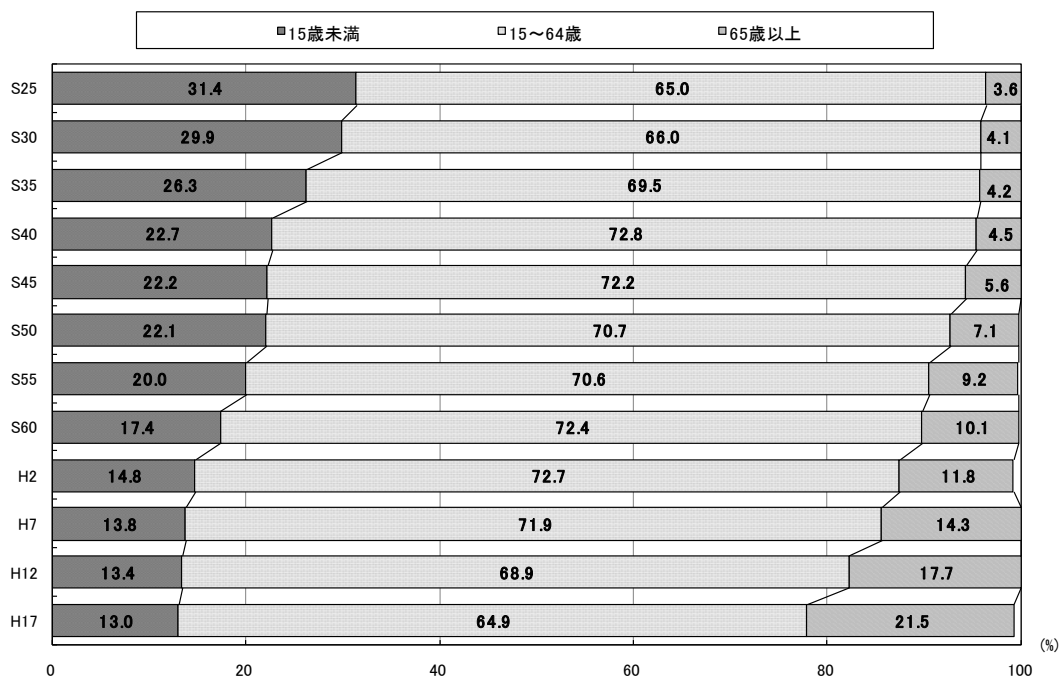


※昭和49年に住吉区より住之江区が分区した。資料：国勢調査 ※H22は速報値
それ以前の数値は分区後の区域で遡及して集計した数値である。

2. 年齢3区分別人口割合の推移

・平成17年では年少人口割合、老年人口割合ともに高く、生産年齢人口割合が低くなっている。

図表 2-4-21-2 年齢3区分別人口割合の推移【住吉区】



※昭和49年に住吉区より住之江区が分区した。それ以前の数値は分区後の区域で遡及して集計した数値である。

資料：国勢調査
注：年齢「不詳」を含むため、合計値が100%にならない場合がある。

3. 自然動態

・緩やかに自然増加数が減少し、平成17年に自然減少に転じた。

図表2-4-21-3 出生・死亡・自然増減数の推移【住吉区】

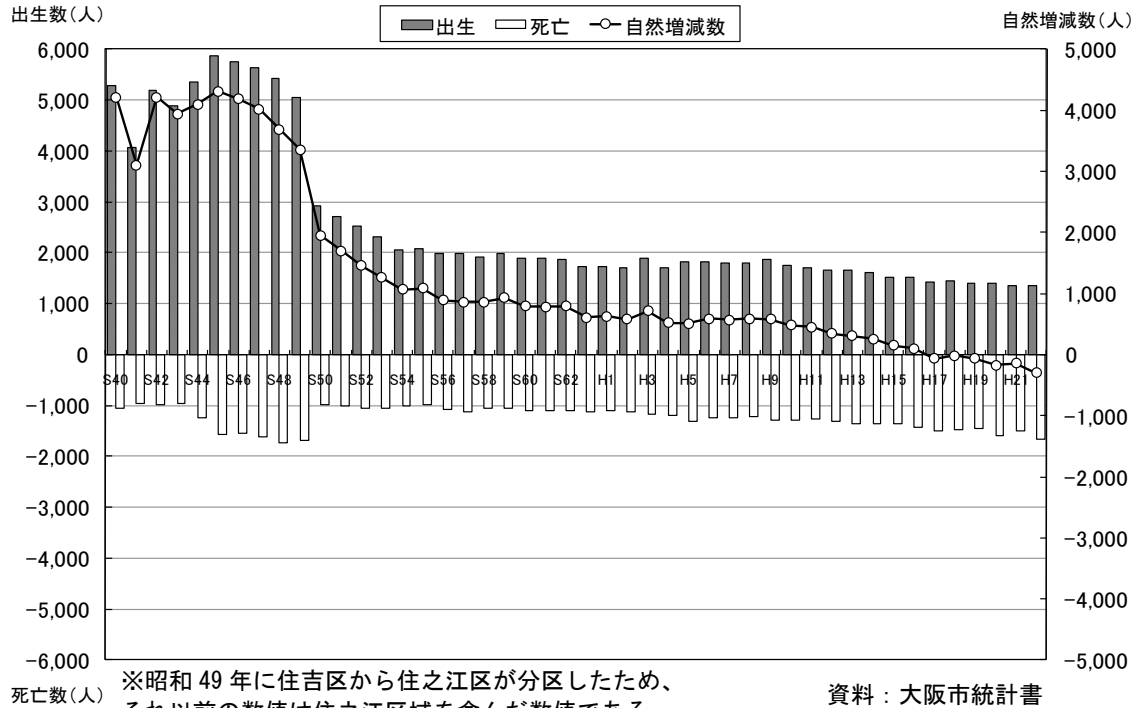


図2-4-21-4 出生・死亡・自然増減数の推移【住吉区】

	出生数	死亡数	自然増減数		出生数	死亡数	自然増減数
昭和40年	5,281	1,064	4,217	昭和63年	1,737	1,126	611
昭和41年	4,071	970	3,101	平成元年	1,730	1,098	632
昭和42年	5,194	982	4,212	平成2年	1,709	1,126	583
昭和43年	4,897	956	3,941	平成3年	1,887	1,172	715
昭和44年	5,351	1,250	4,101	平成4年	1,716	1,198	518
昭和45年	5,872	1,557	4,315	平成5年	1,832	1,320	512
昭和46年	5,744	1,555	4,189	平成6年	1,823	1,237	586
昭和47年	5,638	1,617	4,021	平成7年	1,804	1,231	573
昭和48年	5,416	1,725	3,691	平成8年	1,798	1,208	590
昭和49年	5,053	1,691	3,362	平成9年	1,872	1,294	578
昭和50年	2,930	975	1,955	平成10年	1,761	1,282	479
昭和51年	2,708	1,011	1,697	平成11年	1,718	1,269	449
昭和52年	2,519	1,061	1,458	平成12年	1,651	1,303	348
昭和53年	2,317	1,057	1,260	平成13年	1,662	1,351	311
昭和54年	2,064	997	1,067	平成14年	1,619	1,356	263
昭和55年	2,077	990	1,087	平成15年	1,514	1,365	149
昭和56年	1,982	1,087	895	平成16年	1,523	1,423	100
昭和57年	1,981	1,115	866	平成17年	1,425	1,486	△61
昭和58年	1,907	1,045	862	平成18年	1,459	1,473	△14
昭和59年	1,979	1,049	930	平成19年	1,396	1,460	△64
昭和60年	1,890	1,098	792	平成20年	1,413	1,584	△171
昭和61年	1,887	1,102	785	平成21年	1,361	1,505	△144
昭和62年	1,883	1,090	793	平成22年	1,355	1,655	△300

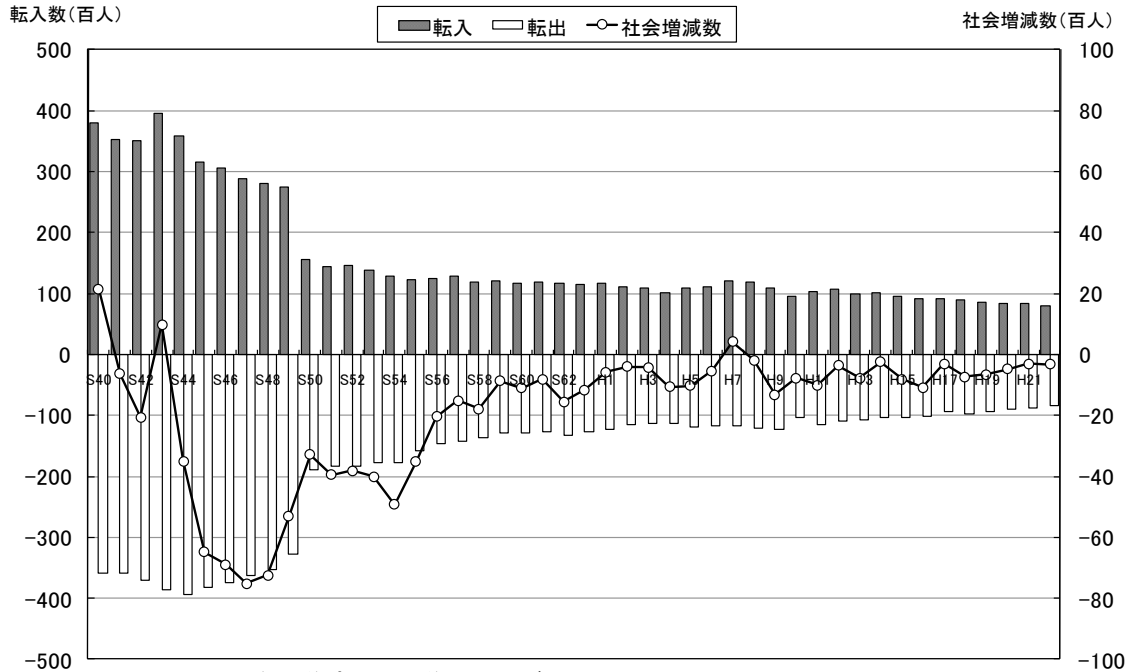
※昭和49年に住吉区から住之江区が分区したため、それ以前の数値は住之江区域を含んだ数値である。

資料：大阪統計書

4. 社会動態

・平成7年を除き、社会減少が続いている。転入数・転出数ともに減少している。

図表 2-4-21-5 転入・転出・社会増減数の推移【住吉区】



転入数(百人) ※昭和49年に住吉区から住之江区が分区したため、それ以前の数値は住之江区域を含んだ数値である。

資料：大阪市統計書

図 2-4-21-6 転入・転出・社会増減数の推移【住吉区】

	転入数	転出数	社会増減数		転入数	転出数	社会増減数
昭和40年	38,023	35,860	2,163	昭和63年	11,516	12,670	△1,154
昭和41年	35,271	35,904	△633	平成元年	11,681	12,258	△577
昭和42年	35,067	37,122	△2,055	平成2年	11,168	11,558	△390
昭和43年	39,532	38,557	975	平成3年	10,877	11,300	△423
昭和44年	35,952	39,457	△3,505	平成4年	10,144	11,210	△1,066
昭和45年	31,637	38,119	△6,482	平成5年	10,867	11,886	△1,019
昭和46年	30,513	37,411	△6,898	平成6年	11,134	11,677	△543
昭和47年	28,789	36,303	△7,514	平成7年	12,115	11,687	428
昭和48年	28,123	35,362	△7,239	平成8年	11,815	12,005	△190
昭和49年	27,397	32,709	△5,312	平成9年	10,874	12,192	△1,318
昭和50年	15,564	18,839	△3,275	平成10年	9,568	10,331	△763
昭和51年	14,386	18,331	△3,945	平成11年	10,417	11,413	△996
昭和52年	14,565	18,375	△3,810	平成12年	10,633	11,002	△369
昭和53年	13,787	17,796	△4,009	平成13年	9,933	10,706	△773
昭和54年	12,784	17,698	△4,914	平成14年	10,172	10,424	△252
昭和55年	12,358	15,881	△3,523	平成15年	9,581	10,396	△815
昭和56年	12,552	14,581	△2,029	平成16年	9,111	10,192	△1,081
昭和57年	12,779	14,298	△1,519	平成17年	9,113	9,407	△294
昭和58年	11,845	13,631	△1,786	平成18年	8,929	9,659	△730
昭和59年	12,061	12,928	△867	平成19年	8,614	9,270	△656
昭和60年	11,774	12,884	△1,110	平成20年	8,478	8,957	△479
昭和61年	11,942	12,746	△804	平成21年	8,440	8,744	△304
昭和62年	11,694	13,244	△1,550	平成22年	7,990	8,321	△331

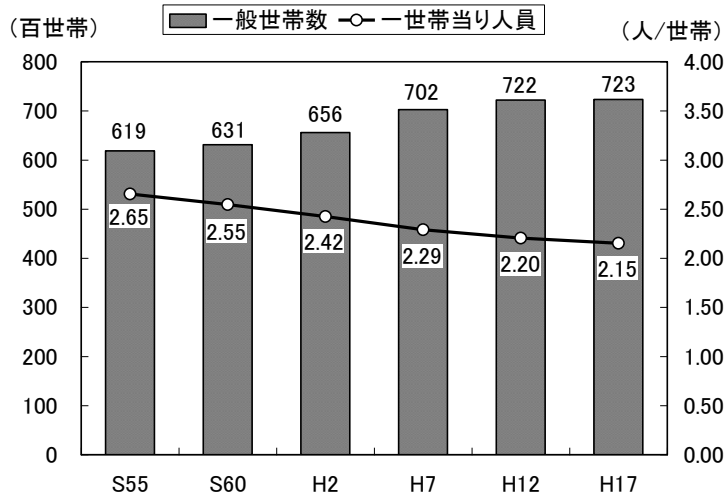
※昭和49年に住吉区から住之江区が分区したため、それ以前の数値は住之江区域を含んだ数値である。

資料：大阪市統計書

5. 一般世帯数と一世帯当り人員数

・世帯数の増加幅は縮小し、現在はほぼ横ばい。一世帯当り人員は平成17年に市全体の水準を上回る。

図表2-4-21-7 一般世帯数と一世帯当り人員の推移【住吉区】



		S55	S60	H2	H7	H12	H17
住吉区	一般世帯数	61,862	63,101	65,571	70,249	72,199	72,330
	一世帯当り人員	2.65	2.55	2.42	2.29	2.20	2.15
大阪市	一世帯当り人員	2.83	2.71	2.53	2.36	2.22	2.12

単位：一般世帯数（人） 一世帯当り人員（人/世帯）

資料：国勢調査

※S55は普通世帯、S60以降は一般世帯

6. 世帯の状況

・核家族世帯率が高く、単独世帯率は低い。単独世帯数及び高齢者世帯数は増加傾向。

図表2-4-21-8 核家族世帯・単独世帯・高齢者世帯の推移【住吉区】

